

## 医療ソーシャルワーカーをご存知ですか？

病院には『医療ソーシャルワーカー (MSW : Medical Social Worker)』と呼ばれる職種があります。名前は聞いたことがあっても、具体的に何をする人なのだろう？と疑問に持たれる方も多いのではないのでしょうか。



ソーシャルワーカー (英語 : Social Worker) とは、生活する上で困っている方や不安を抱えている方、社会的に疎外されている方へ問題解決のための援助を提供する専門職です。その中でも『医療ソーシャルワーカー』は、医療機関に勤めるソーシャルワーカーであり、社会福祉士や社会福祉主事といった社会福祉の専門的な資格を有しています。

病院では、突然のケガや病気で入院 (もしくは通院) が必要となった時、患者さんご本人やご家族は実に様々な心配事に直面します。入院費や入院期間・病気は治るのか・仕事は出来るのか・元の生活を送ることが出来るようになるのか…？ご心配は尽きないと思います。また、病気が治癒してからも不安の要素はあります。身体・認知機能の低下や障害の後遺、継続的な安静・療養が必要となり、これまで出来ていたことが出来なくなる可能性も考えられるからです。

このような不安に対し、医療ソーシャルワーカーは社会福祉の専門家としての立場から相談に応じます。

医療ソーシャルワーカーの業務内容は厚生労働省が以下のように分類しています。

- ① 療養中の心理的・社会的問題の解決、調整援助
- ② 退院援助
- ③ 社会復帰援助
- ④ 受診・受療援助
- ⑤ 経済的問題の解決、調整援助
- ⑥ 地域活動

(厚生労働省『医療ソーシャルワーカー業務指針』より)

上記のような援助・支援をするために、医療ソーシャルワーカーは様々な人との連絡・調整を行います。

病院内では、医師や看護師をはじめとした専門職と患者さんとの橋渡しをします。

病院の外との連携は、患者さんが円滑に次のステップへ進めるように、地域のケアマネジャーや行政機関、他の医療機関や施設等と連携し、転院や施設入所、社会復帰の調整を行います。

「支援を必要とする人の目線」と「専門家としての知識」で患者さんを支えるのが、『医療ソーシャルワーカー』なのです。

当院にも、もちろん医療ソーシャルワーカーが在籍しております。何かお困り事のある方は地域医療連携室までお気軽にご相談下さい。